

自らの命は自らが守る 適切な避難行動をとれるよう日頃から備えておきましょう

問い合わせ 危機管理課防災・消防担当

マイ・タイムラインを作ってみよう！

マイ・タイムラインとは大雨や台風で風水害の危険があるときに慌てることがないよう、避難に備えた行動を家族構成や地域の特性に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするか」を時系列で一人一人あらかじめ決めておくオリジナルの防災計画です。

風水害は地震と異なり、予測できる災害です。あらかじめ「マイ・タイムライン」を作成しておき、実際に危険が迫ってきたときに落ち着いて行動できるよう、備えておきましょう。

マイ・タイムライン 記入例

マイ・タイムラインをつくらよう									
埼玉 家の マイ・タイムライン		家族構成	埼玉 太郎 39	埼玉 彩太 5	状況	自宅は浸水想定区域の中で 浸水深は最大5.0m 隣町(浸水想定区域外)に姉が住んでいる			
		家族構成	埼玉 花子 32	埼玉ハト子 70					
3日前		2日前	1日前		雨・雨が降るとともに強くなる		ここまでは危険な場所から必ず逃げ！		0時間前
家族構成	台風予報 (台風発生)	大雨注意報 洪水注意報	大雨警報 洪水警報	警戒レベル3 発生	高齢者等選避	警戒レベル4 発生	選避指示	警戒レベル5 発生	緊急安全確保
	〇持ち出し品の準備 〇気象情報確認 〇ハザードマップで避難経路確認 〇姉に連絡 〇川・避難情報チェック開始	〇避難開始	〇家族4人で姉の家に 避難完了	〇逃げ遅れた場合 命の危険 直ちに安全確保 (少しでも高い所へ)					

避難方法を確認しましょう！

避難とは、「難」を「避」けることを指します。公民館や学校等の指定緊急避難場所へ移動することだけが**避難**ではありません。

避難には3つの種類があります

立ち退き避難

避難場所等の安全な場所へ移動することであり、避難の基本となります。普段使う薬や眼鏡等を持っていきましょう。

屋内安全確保

自宅や施設等にとどまって安全を確保することです。ハザードマップで、洪水による家屋倒壊の恐れが高い区域でないこと・浸水する深さより高い場所にいることを確認してください。また、浸水して水が引くまで、水や食料などの備えが十分あるか確認しましょう。

緊急安全確保

災害が発生・切迫し、安全な場所に避難できなかった場合に、命の危険から身の安全を可能な限り確保するため、その時点での場所よりも相対的に安全な場所に直ちに移動することです。少しでも浸水しにくい高い場所や近くの頑丈な建物等に緊急的に移動しましょう。

マイ・タイムライン 作成のポイント

ハザードマップを確認する

身の回りで起こりやすい災害リスクを事前に確認しておきましょう。

避難するタイミングを決める

災害が発生し、または発生する恐れがある場合には、人の生命または身体を災害から保護し、その他災害の拡大を防止するため、市から避難情報を発令します。気象情報と合わせて、避難準備や避難開始のタイミングを決める目安となりますので、情報の入手手段をあらかじめ確認しておきましょう。

避難する場所を想定する

ハザードマップを確認し、避難する場所を想定しておきましょう。

市が発信する情報を 確実に入手しましょう！

◆防災行政無線(広報塔)

放送内容は、市ホームページや市公式SNS、広報塔聞き直しサービス(☎042-985-3100)でも確認できます。

◆市公式LINE

広報塔の放送内容を市公式LINEで受信できます。詳しくは2ページをご覧ください。

◆ひだか防災メール(防災行政無線メール配信サービス)

広報塔の放送内容をスマートフォン等で受信できます。[add@city.hidaka.saitama.jp]へ空メールを送信するか、右の二次元コードから登録しましょう。

◆市公式ホームページ

避難情報や災害への備え等の情報を掲載しています。

◆Yahoo! 防災速報アプリ

スマートフォン用アプリ「Yahoo! 防災速報」で日高市を地点登録すると、防災情報をプッシュ通知で受信できます。

◆緊急速報メール

災害が発生した際、市内の各携帯電話事業者端末に、市からの避難情報や緊急情報が一斉配信されます。

日高市防災ハザードマップを活用しよう！

水害、土砂災害、地震等の情報をまとめたハザードマップは、市役所や各公民館、各出張所等で配布しているほか、市ホームページでもご覧になれます。

◆避難行動を確認しましょう

「日高市防災ハザードマップ」の6ページから21ページを確認し、自宅の位置に印をつける。該当する項目にチェックを入れてください。

水害 ☐浸水深の色がついている。**土砂災害** ☐土砂災害(特別)警戒区域内にある。
☐家屋倒壊等氾濫想定区域内にある。

☐に1つでも
チェックが入る

☐家屋倒壊等氾濫想定区域と土砂災害(特別)警戒区域の区域内にある。
☐自宅の居住可能な部屋が、浸水深の色よりも低い位置にある。
☐居住可能な部屋より下が浸水したら、水が引くまで耐えられない。
☐水が引くまでの飲料水や食料などの備蓄が不十分。

☐に1つでも
チェックが入る

☐自分と一緒に避難する人の中に、避難に時間を要する人がいる。

☐にチェックが入る

☐安全な場所にある親戚・知人宅などに避難できる。
☐安全な場所で車中泊ができる。

☐に1つでも
チェックが入る

警戒レベル3「高齢者等避難」で親戚・知人宅・車中泊などへの立ち退き避難を始めましょう。

☐に1つも
チェックが入らない

警戒レベル3「高齢者等避難」で避難場所への立ち退き避難を始めましょう。

☐安全な場所にある親戚・知人宅などに避難できる。
☐安全な場所で車中泊ができる。

☐に1つでも
チェックが入る

警戒レベル4「避難指示」で親戚・知人宅・車中泊などへの立ち退き避難を始め、避難を完了しましょう。

☐に1つも
チェックが入らない

警戒レベル4「避難指示」で避難場所への立ち退き避難を始め、避難を完了しましょう。

☐にチェックが入る
☐に1つでもチェックが入る

☐にチェックが入らない
☐に1つもチェックが入らない

災害の危険が無くなるまで自宅で待機する「**屋内安全確保**」をお願いします。
ただし、過去に浸水や土砂災害の被害があった場合などは、必要に応じて立ち退き避難を行いましょう。

◆避難所や避難経路を確認しましょう

日高市防災ハザードマップの2・3ページに「指定緊急避難場所・指定避難所」の一覧が掲載されていますので、あらかじめ確認しておきましょう。

また、避難する際の経路を普段から確認しておくことも大切です。

8月31日(日)は日高市防災訓練

9月1日の「防災の日」にあわせて、市民の皆さんを対象とした防災訓練(安否確認)および避難所の開設・運営をテーマとした研修・訓練を実施します。

訓練日 8月31日(日)(小雨決行)

訓練開始の合図 午前8時に広報塔(防災行政無線)から緊急地震速報(訓練)と震度速報(訓練)を間隔を空けて行います。
※前日8月30日(土)午後5時に訓練の予告放送を行います。

訓練の中止

○大雨、洪水などの警報が発令されている場合

○震度4以上の地震が発生した場合

※訓練の中止は、当日の午前7時に防災行政無線(広報塔)・市公式LINE等でお知らせします。

訓練の概要

安否確認訓練 午前8時から1時間程度

緊急地震速報放送後、身を守る行動(シェイクアウト訓練)を行ってから、区(自主防災組織)で実施する安否確認訓練に参加してください。

避難所開設研修・訓練 午前10時から正午まで

自由に観覧できます。お気軽に参加ください。

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。

場所 文化体育館「ひだかアリーナ」

費用・申し込み 無料・不要(直接会場へ)

※市役所駐車場をご利用ください。

